

## 地域医療福祉拠点の検討

～「健康」応援都市の構築に向けて～

### 1 事業目的

本事業は、総合戦略の機軸として掲げた「健康」応援都市の構築に向けて、社会の変化に対応したまちづくりを進めるため、UR ひばりが丘団地（ひばりが丘パークヒルズ）をモデル地域として位置付け、UR 都市機構が行政や地域関係者と連携し推進している地域医療福祉拠点化の取組や、地域に存在する既存のコミュニティとの連携による事業を行う。

今後の人口減少や少子高齢社会の進展などを見据えたまちづくりを検討・研究し、共生できる環境づくり、コミュニティ機能の充実を図る。

### 2 事業内容

ひばりが丘 3 丁目地域（UR ひばりが丘団地）は、高齢化率が 40% 超と市内でも高位地域となっている。そのため、平成 29 年度は、地域の居住者が身近に集まれる域内のスペースを利用し、「介護予防事業」を実施するとともに、平成 29 年度から立ち上げる「フレイル（虚弱）予防事業」を行う。

地域内のコミュニティなどとの連携により、効果的な取組となるよう事業を推進する。一人ひとりの健康水準の向上や維持、健康寿命の延伸のための取り組みを進める。

#### (1) 実施場所

- ・ひばりが丘団地（UR ひばりが丘パークヒルズ）内スペース

#### (2) 対象者

- ・概ね 65 歳以上

### 3 予算（一般会計）

- ・209 千円

【問い合わせ先】 高齢者支援課（TEL：042-438-4028）

### 資料のポイント

- ・UR ひばりが丘団地（ひばりが丘パークヒルズ）をモデル地域に、地域内のコミュニティなどとの連携による効果的な取組を展開する。
- ・今後の人口減少や少子高齢社会の進展などを見据えたまちづくりの検討及び研究を行い、共生できる環境づくり、コミュニティ機能の充実を図る。